

2. 調査結果

2.1 分析対象者

調査対象者2559名のうち、437名から回答を得た（回収率17%）。これらを分析対象者とする。本調査は郵送によって質問紙を回収しているため、分析対象者は積極的に調査協力した者に限られる。したがって、分析対象者は他の学生と比較して、秋入学に関して高い問題意識を持っている層であると考えられる。調査結果の解釈には、この点についての留意が必要であろう。

なお、学部ごとの内訳は以下の通り。

・文学部	50名	(11.4%)
・教育学部	15名	(3.4%)
・法学部	26名	(5.9%)
・経済学部	46名	(10.5%)
・医学部	47名	(10.8%)
・歯学部	5名	(1.1%)
・薬学部	12名	(2.7%)
・理学部	69名	(15.8%)
・工学部	137名	(31.4%)
・農学部	28名	(6.4%)
・未記入	2名	(0.5%)

また、男女別の内訳は、男性287名(65.7%)、女性148名(33.9%)、未記入2名(0.5%)であった。

2.2 分析の観点

調査結果の分析にあたっては、それぞれの質問項目に対する全体的な回答分布の他に、文系学生と理系学生の違いについても検討した。さらに、Q6において、東北大学における秋入学の実施について、「賛成」「反対」「賛成とも反対とも言えない」に意見が3分された（後述）ので、秋入学に賛成する学生層と反対する学生層の違いに着目した分析を行った。

2. 3 設問 I の結果

設問 I では、秋入学に伴って生じる高校卒業後から大学入学までの期間を「移行期間」とし、回答者が実際に「秋入学」をすることになったと仮定した場合に、その「移行期間」についてどのように考えるかについて想像してもらった。各問の集計結果は以下のとおりである。

Q1 移行期間をどのようにして過ごしたいか

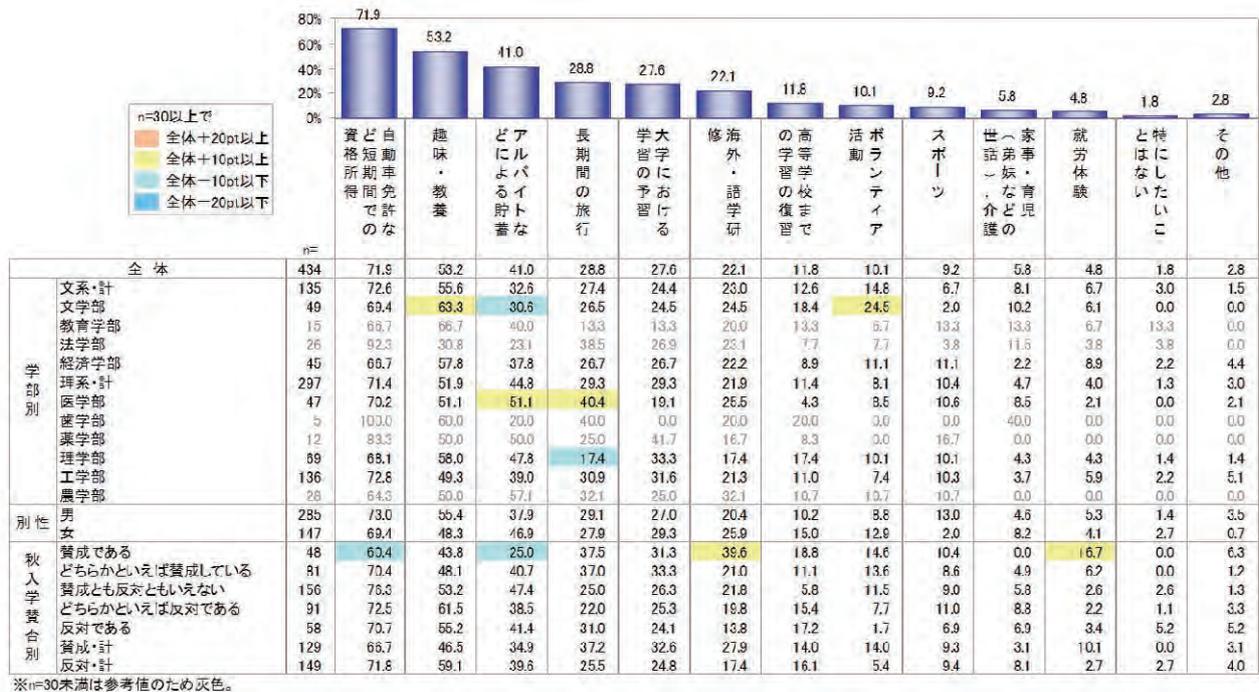


図 1 移行期間をどのように過ごしたいか

「移行期間」にしてみたいこととして、「特にはないことではない」「その他」を含めた 13 個の選択肢の中から 3 つまで選んでもらった結果が図 1 である。最も多かったのは「自動車免許など短期間の資格所得」(71.9%) であり、次いで、「趣味・教養」(53.2%)、「アルバイトなどによる貯蓄」(41.0%) であった。文系か理系かという違い、あるいは、秋入学への賛否による大きな違いは見られなかった。

「その他」に見られた自由記述としては「遊ぶ」と記入したものが実質的に 4 名いたほか、「無駄に過ごしてしまう気がする。」「就労体験、ボランティア、アルバイトなどの様々な社会経験。」「自分の興味のある部分の理解を深める。」「計画立てても結局だらけと思う。」といった回答がみられていた。概して、秋入学によって生じる移行期間において、学生自らが積極的に大学での学びに関する予習や復習、語学といった勉学に関する活動よりも、資格取得や趣味、貯蓄といった活動に目が向いていることが示されているといえよう。

Q2 移行期間に参加したい活動プログラム

項目	n	参加したいと思う・計			参加したいと思わない・計			思う・計	思わな い・計
		思 非 常 に 参 加 し た い と 思 う	参 加 し た い と 思 う	参 ど ち ら か と い え ば	参 ど ち ら か と い え ば な い	思 参 加 し た い と は	ま っ た く 参 加 し た い と 思 わ な い		
大学での研究活動(実験やフィールドワーク)などの体験活動	433	24.7	37.0	25.4	7.4	39.6	87.1	12.9	
英語などの語学学習	435	22.8	33.8	28.3	8.0	41.8	84.8	15.2	
入学予定者間の親睦を深めるような交流活動	435	19.3	29.0	30.8	11.5	48.4	79.1	20.9	
大学1年次の教養教育の事前指導	435	17.0	27.4	34.0	11.5	57.4	78.4	21.6	
パソコンなど情報機器の基礎的スキルの修得	434	18.4	30.0	31.6	12.7	58.7	77.9	22.1	
海外研修	436	29.6	21.3	22.7	10.3	8.3	7.8	73.6	26.4
国際交流	436	20.6	25.5	26.8	14.2	7.3	5.5	72.9	27.1
リーダーシップ等、社会人として求められる資質の養成講座	434	14.5	28.3	27.6	16.6	8.3	4.6	70.5	29.5
インターンシップなどの勤労社会体験	435	10.1	28.0	32.9	18.3	10.1	4.6	69.0	31.0
ボランティアなどの社会貢献奉仕活動	436	13.3	27.1	28.0	16.1	8.5	7.1	68.3	31.7
大学のカリキュラムにない資格取得に関する学習	435	14.7	23.7	29.0	17.0	11.0	4.6	67.4	32.6
大学図書館の開放や利用ガイドの指導	436	18.7	18.6	29.4	19.0	9.2	7.1	64.7	35.3
体力増進スポーツ活動	436	11.2	22.9	24.5	18.3	11.9	11.0	58.7	41.3
留学準備のためのプログラム(説明会やグループワーク)	436	14.0	16.3	24.3	21.8	12.8	10.8	54.6	45.4
出身家庭や地域とは異なる場所でのホームステイ活動	435	12.2	18.6	25.5	18.6	16.6	10.6	54.3	45.7
遠隔地からも参加できるeラーニングによる活動	434	6.2	12.2	29.5	29.0	13.8	9.2	47.9	52.1
高校までの学習内容の補習教育	436	4.8	13.3	23.6	24.5	19.5	14.2	41.7	58.3

図2 移行期間における活動プログラムへの参加意向

移行期間に、大学側が提供するであろうプログラムとして17項目を準備し、それぞれについて、「非常に参加したい」から「まったく参加したいと思わない」の6件法で尋ねた(図2)。それらを「参加したい」「参加したくない」という2つの意向としてとらえると、「大学での研究活動(実験やフィールドワーク)などの体験活動」(87.1%)、「英語などの語学学習」(84.8%)、「入学予定者間の親睦を深めるような交流活動」(79.1%)、「大学1年次の教養教育の事前指導」(78.4%)などが高い参加意向を示したプログラムであった。次に、「参加したい」と「参加したくない」との対比でみると、17項目中15項目が「したくない」よりも「参加したい」が多く、「参加したくない」の方が多かったのは、「遠隔地からも参加できるeラーニングによる活動」(「参加したい」が47.9%)、「高校までの学習内容の補習教育」(同41.7%)であった。また、「非常に参加したいと思う」と回答した割合が高い項目を見てみると、「海外研修」が29.6%と最も高くなっており、一部の学生に海外研修がきわめて魅力的なプログラムとなっていることがうかがえる。

さらに、希望する活動プログラムの学部ごとに違いを調べてみると、文系学部では「大学のカリキュラムにない資格取得に関する学習」の参加意向が79.4%と全体の67.4%よりも10%以上高く、「高校までの学習内容の補習教育」の参加意向が31.4%と全体の41.7%よりも10%以上低かった。また、秋入学への賛否との関連では、賛成の意向を示している場合に、「留学準備のためのプログラム(説明会やグループワーク)」や「出身家庭や地域とは異なる場所でのホームステイ活動」の参加意向が高く、反対の場合に低いことが示されていた(図3)。

これらの結果から、大学側がプログラムとして準備するのであれば、大学での学びの準備、特に研究活動のみならず、1年次の教養教育や語学学習も含めた学習への意欲は高いこと、文系学部では高

校までの学びとは違った資格取得などに目が向きがちであること、さらに秋入学への賛否は海外への留学やホームステイの希望と関連している可能性が示唆されたといえよう。

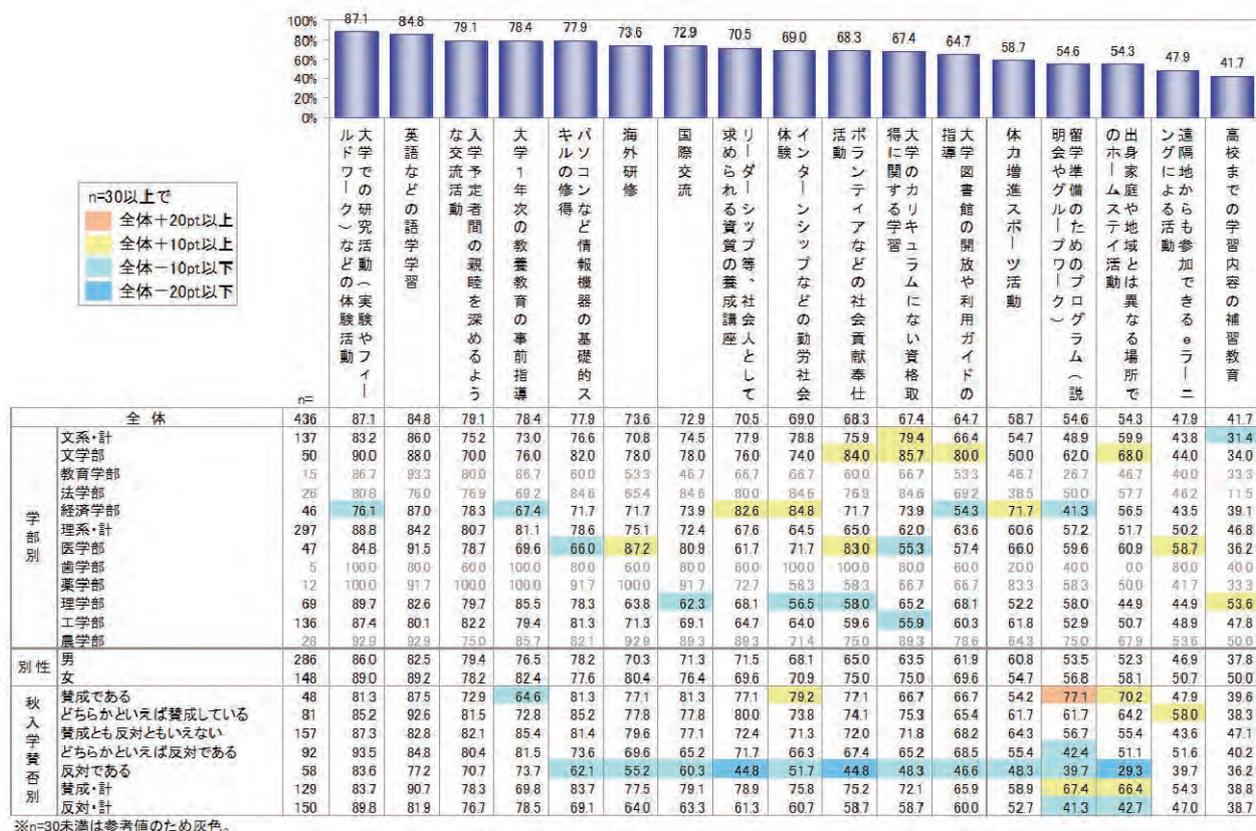


図3 移行期間における活動プログラム—属性別詳細

なお、補設問として上記 17 項目にない希望する活動プログラムを自由記述で記入してもらったところ、54 名に記述が見られた(「特になし」などと記入したものを除く)。大まかに分類すると、部活動やサークルの体験、事前活動が 12 名、在学生との交流が 14 名、研究室訪問や講義の聴講など選択肢にある「大学での研究活動の体験」に類似したものが 11 名、一部、在学生との交流と重複するが、「先輩方に聞く、仙台での生活みたいなもの、各学部、先輩方と交流して、家を決める際のポイントや遊ぶ所、美味しい飯屋等を教えてもらえる活動。」といった回答に見られるような生活準備に関する回答が 6 名見られていた。また、「大学が活動プログラムを提供するなら、春入学と変わらず秋入学にする意味がない。わざわざ外国に合わせて入学時期を決める必要はない。」といった意見もみられていた。

Q3 移行期間によって生じる不安

移行期間によって生じる学生の不安に関して、11 項目を準備し、それぞれについて、「非常に不安である」から「まったく不安ではない」の 6 件法で尋ねた(図 4)。それらを「不安である」「不安でない」という 2 つの意向としてとらえると、不安の高い項目として、「移行期間に、自堕落な生活をしてしまうこと」(不安である 86.7%, 以下同)、「入学までに学力が低下すること」(83.8%)、「移行期間の過ごし方次第で、入学する学生間に格差が生じること」(74.9%)などがあげられる。一方、「不安で

ある」が低かった項目(すなわち、「不安ではない」項目)は、「移行期間の間、家のなかに自分の居場所がなくなること」(13.8%)といった家庭に関する項目のほか、「移行期間の間に、大学での学習内容に興味を失うこと」(41.1%)であった。概して、移行期間において自分を律することができるかどうか、大学への学習にうまく適応できるかどうかといった点での不安が高いことがうかがえている。

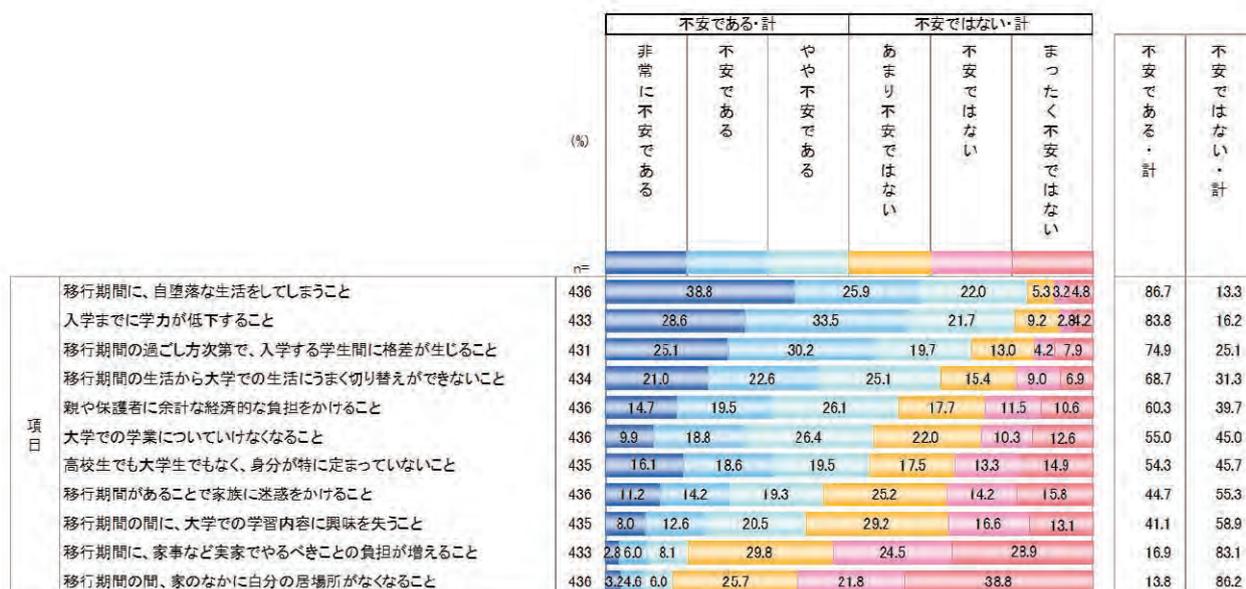
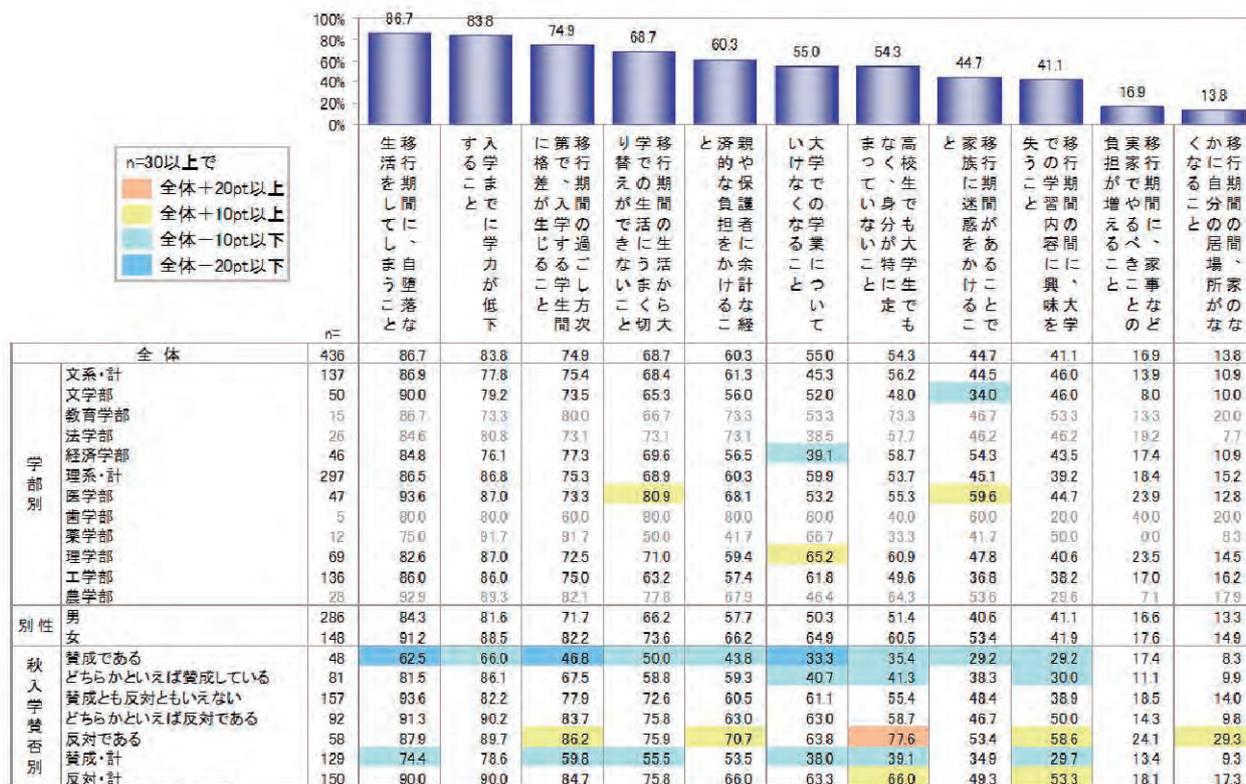


図4 移行期間に生じる不安

さらに、学部や秋入学への賛否による不安の違いに目を向けてみると(図5)、不安の内容について文系/理系による違いは特にみられないようだが、秋入学の賛否に関してしてみると、「反対である」とする意向を持つ場合、「高校生でも大学生でもなく、身分が特に定まっていないこと」(66.0%)、「移行期間の間に、大学での学習内容に興味を失うこと」(53.3%)の項目において全体よりも不安であると感じる割合が高いようであった。一方で、賛成の意向を示す場合に、全体よりも不安を感じる割合が10%以上低かった項目は、「移行期間に、自堕落な生活をしてしまうこと」(74.4%)、「移行期間の過ごし方次第で、入学する学生間に格差が生じること」(59.8%)、「移行期間の生活から大学での生活にうまく切り替えができないこと」(55.5%)、「大学での学業についていけなくなること」(38.0%)、「高校生でも大学生でもなく、身分が特に定まっていないこと」(39.1%)、「移行期間の間に、大学での学習内容に興味を失うこと」(29.7%)の6項目であり、秋入学への賛成の意向を示す場合、比較的、大学への適応に不安が少ないことが示唆されたといえよう。



※n=30未満は参考値のため灰色。

図5 移行期間に生じる不安—属性別詳細

さらに補設問として、上記11項目以外に「特に心配になったり気がかりになること」があるかどうかを自由記述で尋ねたところ、107名に記述が見られた(「特になし」などと記入したものを除く)。その大半が、「自堕落な生活になりそう。」「学力低下。生活習慣の悪化。大学への興味、勉強への意欲の低下。」「無駄な日々をすごしてしまうこと。」といった記述に見られるように、自分を律することができるかどうかの不安であった。また、「就職のとき不安」といったように、就職時期や就職活動に関する不安・気がかりを挙げたものが6名いた。さらに、少数意見として次のような記述も見られた。「入学予定者の身分(学割は適用されるか等)について。」「大学が移行期間の間に新たな活動プログラムを提供してくれたとして、そのプログラムに参加するための必要経費がかかること。その経費が奨学金の対象になるか、そのための奨学金があるかどうか不明であること。」「遠隔地の大学の場合、移行期間中に引越すべきかどうかどうなのかがわからない(移行期間中、どの程度大学での活動があるかによるため)。」

2. 4 設問Ⅱの結果

Q 4 秋入学に関する興味・関心

「Q 4 あなたは大学の秋入学の問題に興味や関心がありますか」という問いに対して、『興味や関心がある』『どちらかといえば興味や関心がある』の回答の合計は、60%以上であった。この傾向は、“全体”においても“文系・計”，“理系・計”においても同様である。また，秋入学賛否別に見ても，“反対・計”において、『興味や関心がある・計』が50%を超えていることから，東北大学生において秋入学の話題に関する興味や関心が全般的に高いことがうかがえる。

表 1 大学の秋入学の問題に興味や関心があるか

Q4 あなたは大学の秋入学の問題に興味や関心がありますか		該当数	a ・ 興味や関心がある	b ・ どちらかといえば興味や関心がある	c ・ 興味があるともない ともいえない	d ・ どちらかといえば興味や関心はない	e ・ 興味や関心はない	興味や関心がある・計	興味や関心はない・計
全 体		435	17.0	46.0	19.5	12.6	4.8	63.0	17.5
学部別	文系・計	137	17.5	43.8	23.4	9.5	5.8	61.3	15.3
	文学部	50	20.0	40.0	22.0	14.0	4.0	60.0	18.0
	教育学部	15	6.7	66.7	26.7	0.0	0.0	73.3	0.0
	法学部	26	23.1	46.2	15.4	3.8	11.5	69.2	15.4
	経済学部	46	15.2	39.1	28.3	10.9	6.5	54.3	17.4
	理系・計	296	16.9	46.6	17.9	14.2	4.4	63.5	18.6
	医学部	46	15.2	43.5	28.3	13.0	0.0	58.7	13.0
	歯学部	5	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0
	薬学部	12	8.3	50.0	25.0	0.0	16.7	58.3	16.7
	理学部	69	23.2	36.2	11.6	24.6	4.3	59.4	29.0
	工学部	137	18.2	48.9	18.2	10.2	4.4	67.2	14.6
	農学部	27	3.7	66.7	11.1	14.8	3.7	70.4	18.5
性別	男	286	21.3	46.2	17.8	9.8	4.9	67.5	14.7
	女	147	8.8	44.9	23.1	18.4	4.8	53.7	23.1
秋入学賛否別	賛成である	48	54.2	37.5	4.2	0.0	4.2	91.7	4.2
	どちらかといえば賛成している	80	16.3	71.3	7.5	5.0	0.0	87.5	5.0
	賛成とも反対ともいえない	156	10.3	42.9	26.9	16.0	3.8	53.2	19.9
	どちらかといえば反対である	92	9.8	39.1	26.1	21.7	3.3	48.9	25.0
	反対である	59	16.9	37.3	18.6	10.2	16.9	54.2	27.1
	賛成・計	128	30.5	58.6	6.3	3.1	1.6	89.1	4.7
	反対・計	151	12.6	38.4	23.2	17.2	8.6	51.0	25.8

※ 『a.興味や関心がある』『b.どちらかといえば興味や関心がある』『c.興味があるともないともいえない』『d.どちらかといえば興味や関心はない』『e.興味や関心はない』の5件法。『興味がある・計』は『a.興味や関心がある』と『b.どちらかといえば興味や関心がある』の、『興味がない・計』は『d.どちらかといえば興味や関心はない』『e.興味や関心はない』の回答の合計。

Q5 留学意欲

「Q5 秋入学導入のねらいの1つに、海外への留学の活発化があります。あなたが大学に入学した頃に秋入学の制度が一般的になっていたとした場合、あなたは現在の自分の気持ち以上に留学したいと思いますか」に対して、『a. 留学意欲が強まると思う』『b. どちらかといえば強まると思う』の回答の合計である『強まる・計』は40%弱であった。この傾向は、“全体”においても“文系・計”，“理系・計”においても同様である。秋入学賛否別に見てみると，“賛成・計”においては約60%が『強まる・計』の回答をしていたことから、秋入学賛成の立場の東北大学生は、留学に関しても制度が整って機会があれば留学したいと考えており、留学への意欲が潜在することが示唆された。これに対し、秋入学反対の立場の学生は、留学意欲が強まるとする学生は約20%と相対的に少ないことから、秋入学を留学を促進する契機とはとらえていないことがうかがえる。

表2 大学に入学した頃に秋入学の制度が一般的になっていた場合、
現在の自分の気持ち以上に留学したいと思うか

Q5 秋入学導入のねらいの1つに、海外への留学の活発化があります。あなたが大学に入学した頃に秋入学の制度が一般的になっていたとした場合、あなたは現在の自分の気持ち以上に留学したいと思いますか。(SA)		該当数	思 う ・ 留 学 意 欲 が 強 ま る と	ま る ・ ど ち ら か と い え ば 強	い と ・ 留 学 意 欲 は 変 わ ら な	ま る ・ ど ち ら か と い え ば 弱	思 う ・ 留 学 意 欲 が 弱 ま る と	強 ま る ・ 計	弱 ま る ・ 計
全 体		436	11.7	25.7	59.9	1.1	1.6	37.4	2.8
学 部 別	文系・計	137	13.1	25.5	59.1	0.7	1.5	38.7	2.2
	文学部	50	16.0	26.0	56.0	2.0	0.0	42.0	2.0
	教育学部	15	13.3	13.3	66.7	0.0	6.7	26.7	6.7
	法学部	26	7.7	34.6	57.7	0.0	0.0	42.3	0.0
	経済学部	46	13.0	23.9	60.9	0.0	2.2	37.0	2.2
	理系・計	297	11.1	25.6	60.3	1.3	1.7	36.7	3.0
	医学部	47	14.9	27.7	57.4	0.0	0.0	42.6	0.0
	歯学部	5	0.0	40.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	薬学部	12	0.0	41.7	58.3	0.0	0.0	41.7	0.0
	理学部	69	14.5	18.8	60.9	1.4	4.3	33.3	5.8
工学部	137	8.8	27.7	59.9	2.2	1.5	36.5	3.6	
農学部	27	14.8	18.5	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	
性 別	男	287	12.2	25.8	59.6	1.0	1.4	38.0	2.4
	女	147	10.9	25.2	60.5	1.4	2.0	36.1	3.4
秋 入 学 賛 否 別	賛成である	48	39.6	22.9	35.4	0.0	2.1	62.5	2.1
	どちらかといえば賛成している	81	16.0	39.5	43.2	1.2	0.0	55.6	1.2
	賛成とも反対ともいえない	156	9.0	28.2	60.9	1.3	0.6	37.2	1.9
	どちらかといえば反対である	92	3.3	18.5	78.3	0.0	0.0	21.7	0.0
	反対である	59	3.4	13.6	71.2	3.4	8.5	16.9	11.9
	賛成・計	129	24.8	33.3	40.3	0.8	0.8	58.1	1.6
反対・計	151	3.3	16.6	75.5	1.3	3.3	19.9	4.6	

※ 『a. 留学意欲が強まると思う』『b. どちらかといえば強まると思う』『c. 留学意欲は変わらないと思う』
『d. どちらかといえば弱まると思う』『e. 留学意欲が弱まると思う』の5件法。『強まる・計』は『a. 留
学意欲が強まると思う』と『b. どちらかといえば強まると思う』との、『弱まる・計』は『d. どちら
かといえば弱まると思う』と『e. 留学意欲が弱まると思う』との回答の合計。

Q 6 東北大学における秋入学の賛否

「Q 6 あなたは自分の所属する大学で秋入学を実施することについてどのように思いますか」に対して、『a. 賛成である』『b. どちらかといえば賛成している』の回答の合計である『賛成・計』は約30%、『d. どちらかといえば反対である』『e 反対である』の回答の合計である『反対・計』は約35%であり、賛成と反対、その他の立場の学生の割合が拮抗していることが示された。

表 3 自分の所属する大学で秋入学を実施することについてどのように思うか

Q6 あなたは自分の所属する大学で秋入学を実施することについてどのように思いますか		該当数	a . 賛成である	成 b . どちらかといえば賛成	え c . 賛成とも反対ともいえない	対 d . どちらかといえば反対	e . 反対である	賛成・計	反対・計
全 体		437	11.0	18.5	35.9	21.1	13.5	29.5	34.6
学部別	文系・計	137	10.9	16.8	37.2	24.8	10.2	27.7	35.0
	文学部	50	12.0	18.0	38.0	22.0	10.0	30.0	32.0
	教育学部	15	6.7	13.3	13.3	40.0	26.7	20.0	66.7
	法学部	26	0.0	26.9	38.5	23.1	11.5	26.9	34.6
	経済学部	46	17.4	10.9	43.5	23.9	4.3	28.3	28.3
	理系・計	298	11.1	19.1	35.2	19.5	15.1	30.2	34.6
	医学部	47	4.3	29.8	21.3	23.4	21.3	34.0	44.7
	歯学部	5	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	薬学部	12	8.3	16.7	41.7	16.7	16.7	25.0	33.3
	理学部	69	15.9	14.5	39.1	17.4	13.0	30.4	30.4
	工学部	137	11.7	19.0	34.3	21.2	13.9	30.7	35.0
	農学部	28	10.7	17.9	39.3	14.3	17.9	28.6	32.1
性別	男	287	13.2	20.2	33.1	20.9	12.5	33.4	33.4
	女	148	6.8	14.9	41.2	21.6	15.5	21.6	37.2
秋入学賛否別	賛成である	48	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	どちらかといえば賛成している	81	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	賛成とも反対ともいえない	157	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	どちらかといえば反対である	92	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	反対である	59	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	賛成・計	129	37.2	62.8	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
反対・計	151	0.0	0.0	0.0	60.9	39.1	0.0	100.0	

※ 『a. 賛成である』『b. どちらかといえば賛成している』『c. 賛成とも反対ともいえない』『d. どちらかといえば反対である』『e 反対である』の5件法。『賛成・計』は『a. 賛成である』と『b. どちらかといえば賛成している』との、『反対・計』は『d. どちらかといえば反対である』と『e 反対である』との回答の合計。

Q7 秋入学の導入にあたり整備が必要だと思う事柄

「Q7 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか」として呈示した Q7_1 から Q7_10 において、『6 非常に必要だと思う』『5 必要だと思う』『4 どちらかといえば必要だと思う』の合計である『必要だと思う・計』の割合が高かった上位 3 項目は、順に「Q7_9 卒業と就職との間にギャップが生じないような採用システムをつくること」(96.6%)、「Q7_10 現在の就職活動における新卒一括採用(定期採用)への偏重を是正すること」(94.3%)、「Q7_6 入学予定者を対象とした、移行期間に行われ各種プログラムを充実させること」(91.5%)であった。これらと「Q7_7 「学生割引」など、学生を対象とした優遇措置を入学予定者へも適用すること」(89.7%)とが、約 90%の学生が秋入学導入に際して整備すべき事項と回答したことになる。『必要だと思う・計』の割合が低かった下位 3 項目は、順に「Q7_5 小学校から高等学校まで、すべての教育機関秋入学を実施すること」(43.2%)、「Q7_3 高等学校で(2年ないし 2.5年で卒業可能とするような)早期卒業制度が実施され、秋入学に伴う時間的ロスが軽減されること」(49.0%)、「Q7_1 秋入学にあわせた時期に大学入試を実施すること」(63.5%)であり、高校までの教育システムや入試の時期の見直しや整備の必要性に関しては、学生の間で意見が割れていることが示された。これらの全体の結果と、文系・理系、秋入学賛否別の結果はほぼ同じである。ただし、「Q7_5 小学校から高等学校まで、すべての教育機関秋入学を実施すること」に関しては、秋入学賛成の立場の学生においては 36.4%であるのに対し、秋入学反対の立場の学生においては 54.3%と高くなっており、秋入学反対の学生は、小学校から高校までのすべての教育機関で入学時期をそろえることが重要だと考えていると推察される。

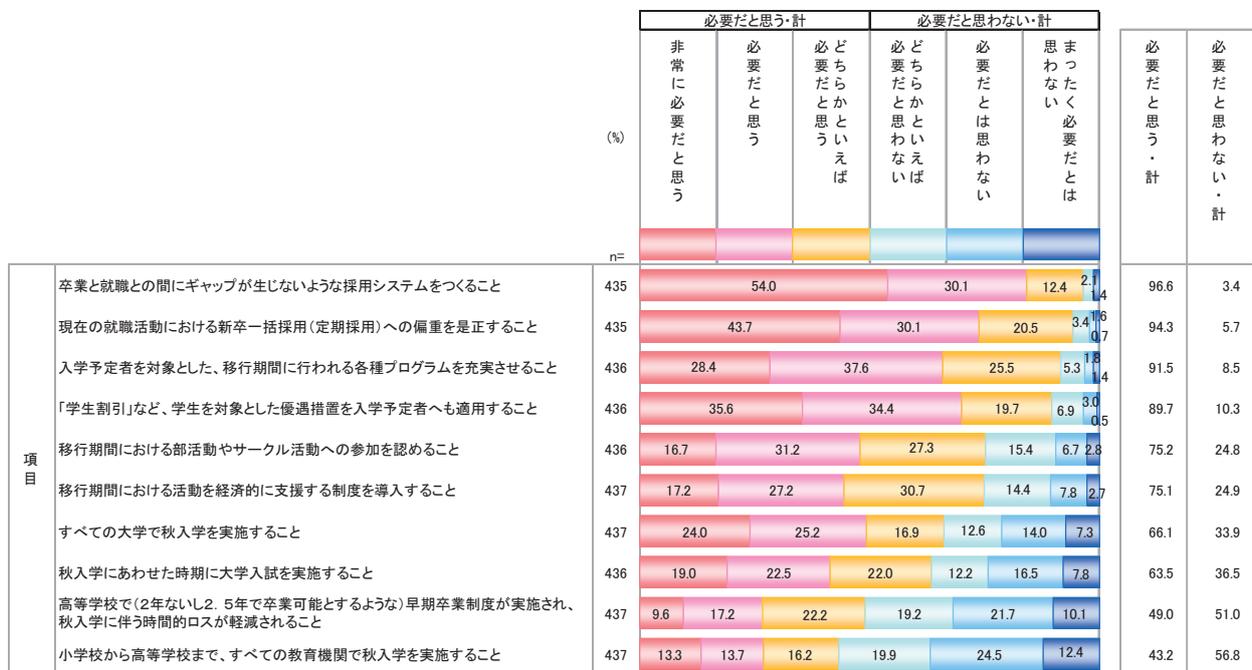


図6 自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思うか

※ 『6 非常に必要だと思う』『5 必要だと思う』『4 どちらかといえば必要だと思う』『3 どちらかといえば必要だと思わない』『2 必要だとは思わない』『1 全く必要だとは思わない』の 6 件法。『必要だと思

う・計』は『6 非常に必要だと思う』『5 必要だと思う』『4 どちらかといえば必要だと思う』の、『必要だと思わない・計』は『3 どちらかといえば必要だと思わない』『2 必要だとは思わない』『1 全く必要だとは思わない』の回答の合計。

表 4 秋入学にあわせた時期に大学入試を実施することは必要か

Q7.1 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／秋入学にあわせた時期に大学入試を実施すること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だ	どちらかといえば必要だ	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		436	19.0	22.5	22.0	12.2	16.5	7.8	63.5	36.5
学部別	文系・計	136	14.0	27.9	26.5	11.8	13.2	6.6	68.4	31.6
	文学部	49	8.2	30.6	18.4	16.3	20.4	6.1	57.1	42.9
	教育学部	15	20.0	20.0	40.0	6.7	13.3	0.0	80.0	20.0
	法学部	26	23.1	19.2	30.8	7.7	15.4	3.8	73.1	26.9
	経済学部	46	13.0	32.6	28.3	10.9	4.3	10.9	73.9	26.1
	理系・計	298	21.1	20.1	20.1	12.4	18.1	8.1	61.4	38.6
	医学部	47	17.0	19.1	23.4	12.8	21.3	6.4	59.6	40.4
	歯学部	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	20.0
	薬学部	12	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	0.0	66.7	33.3
	理学部	69	23.2	18.8	23.2	10.1	14.5	10.1	65.2	34.8
性別	工学部	137	21.9	20.4	16.1	13.1	19.0	9.5	58.4	41.6
	農学部	28	21.4	21.4	21.4	14.3	17.9	3.6	64.3	35.7
性別	男	286	22.4	21.0	19.2	10.8	17.1	9.4	62.6	37.4
	女	148	12.2	25.7	27.7	14.9	15.5	4.1	65.5	34.5
秋入学賛否別	賛成である	48	27.1	22.9	12.5	6.3	10.4	20.8	62.5	37.5
	どちらかといえば賛成している	81	14.8	23.5	30.9	8.6	18.5	3.7	69.1	30.9
	賛成とも反対ともいえない	156	13.5	24.4	23.7	16.7	15.4	6.4	61.5	38.5
	どちらかといえば反対である	92	14.1	22.8	19.6	16.3	23.9	3.3	56.5	43.5
	反対である	59	40.7	15.3	16.9	3.4	10.2	13.6	72.9	27.1
	賛成・計	129	19.4	23.3	24.0	7.8	15.5	10.1	66.7	33.3
反対・計	151	24.5	19.9	18.5	11.3	18.5	7.3	62.9	37.1	

表5 すべての大学で秋入学を実施することは必要か

Q7.2 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／すべての大学で秋入学を実施すること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		437	24.0	25.2	16.9	12.6	14.0	7.3	66.1	33.9
学部別	文系・計	137	19.0	24.8	16.8	17.5	14.6	7.3	60.6	39.4
	文学部	50	12.0	24.0	22.0	14.0	18.0	10.0	58.0	42.0
	教育学部	15	13.3	26.7	20.0	6.7	20.0	13.3	60.0	40.0
	法学部	26	30.8	23.1	11.5	15.4	15.4	3.8	65.4	34.6
	経済学部	46	21.7	26.1	13.0	26.1	8.7	4.3	60.9	39.1
	理系・計	298	26.2	25.2	17.1	10.4	13.8	7.4	68.5	31.5
	医学部	47	19.1	31.9	25.5	12.8	8.5	2.1	76.6	23.4
	歯学部	5	20.0	40.0	20.0	0.0	20.0	0.0	80.0	20.0
	薬学部	12	16.7	25.0	16.7	25.0	8.3	8.3	58.3	41.7
	理学部	69	37.7	17.4	10.1	13.0	13.0	8.7	65.2	34.8
性別	工学部	137	25.5	22.6	17.5	8.0	16.8	9.5	65.7	34.3
	農学部	28	17.9	42.9	17.9	7.1	10.7	3.6	78.6	21.4
性別	男	287	26.8	22.6	13.9	12.2	15.3	9.1	63.4	36.6
	女	148	18.2	29.7	23.0	13.5	11.5	4.1	70.9	29.1
秋入学賛否別	賛成である	48	29.2	16.7	14.6	8.3	20.8	10.4	60.4	39.6
	どちらかといえば賛成している	81	23.5	23.5	17.3	23.5	8.6	3.7	64.2	35.8
	賛成とも反対ともいえない	157	22.3	23.6	22.3	14.6	14.0	3.2	68.2	31.8
	どちらかといえば反対である	92	17.4	33.7	17.4	6.5	14.1	10.9	68.5	31.5
	反対である	59	35.6	25.4	3.4	5.1	15.3	15.3	64.4	35.6
	賛成・計	129	25.6	20.9	16.3	17.8	13.2	6.2	62.8	37.2
反対・計	151	24.5	30.5	11.9	6.0	14.6	12.6	66.9	33.1	

表6 高等学校で早期卒業制度が実施され、秋入学に伴う時間的ロスが軽減されることは必要か

Q7.3 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／高等学校で(2年ないし2.5年で卒業可能とするような)早期卒業制度が実施され、秋入学に伴う時間的ロスが軽減されること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だ	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		437	9.6	17.2	22.2	19.2	21.7	10.1	49.0	51.0
学部別	文系・計	137	7.3	18.2	21.2	22.6	19.7	10.9	46.7	53.3
	文学部	50	8.0	16.0	16.0	32.0	20.0	8.0	40.0	60.0
	教育学部	15	6.7	13.3	40.0	13.3	6.7	20.0	60.0	40.0
	法学部	26	3.8	23.1	15.4	19.2	26.9	11.5	42.3	57.7
	経済学部	46	8.7	19.6	23.9	17.4	19.6	10.9	52.2	47.8
	理系・計	298	10.4	16.8	22.8	17.8	22.5	9.7	50.0	50.0
	医学部	47	10.6	21.3	12.8	27.7	23.4	4.3	44.7	55.3
	歯学部	5	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	20.0	60.0	40.0
	薬学部	12	8.3	33.3	8.3	8.3	25.0	16.7	50.0	50.0
	理学部	69	8.7	17.4	29.0	7.2	23.2	14.5	55.1	44.9
工学部	137	12.4	13.1	24.1	19.7	20.4	10.2	49.6	50.4	
	農学部	28	3.6	21.4	21.4	25.0	28.6	0.0	46.4	53.6
性別	男	287	10.5	17.4	21.6	19.2	20.2	11.1	49.5	50.5
	女	148	7.4	16.9	23.6	19.6	24.3	8.1	48.0	52.0
秋入学賛否別	賛成である	48	16.7	14.6	14.6	22.9	16.7	14.6	45.8	54.2
	どちらかといえば賛成している	81	7.4	21.0	23.5	23.5	21.0	3.7	51.9	48.1
	賛成とも反対ともいえない	157	7.6	17.2	22.9	21.0	24.8	6.4	47.8	52.2
	どちらかといえば反対である	92	5.4	18.5	23.9	16.3	27.2	8.7	47.8	52.2
	反対である	59	18.6	11.9	22.0	10.2	10.2	27.1	52.5	47.5
	賛成・計	129	10.9	18.6	20.2	23.3	19.4	7.8	49.6	50.4
反対・計	151	10.6	15.9	23.2	13.9	20.5	15.9	49.7	50.3	

表7 移行期間における活動を経済的に支援する制度を導入することは必要か

Q7.4 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／移行期間における活動を経済的に支援する制度を導入すること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		437	17.2	27.2	30.7	14.4	7.8	2.7	75.1	24.9
学部別	文系・計	137	13.9	34.3	27.7	14.6	5.8	3.6	75.9	24.1
	文学部	50	14.0	44.0	24.0	12.0	4.0	2.0	82.0	18.0
	教育学部	15	13.3	40.0	40.0	6.7	0.0	0.0	93.3	6.7
	法学部	26	11.5	30.8	34.6	15.4	7.7	0.0	76.9	23.1
	経済学部	46	15.2	23.9	23.9	19.6	8.7	8.7	63.0	37.0
	理系・計	298	18.1	24.2	32.2	14.4	8.7	2.3	74.5	25.5
	医学部	47	27.7	25.5	29.8	10.6	4.3	2.1	83.0	17.0
	歯学部	5	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	60.0	40.0
	薬学部	12	0.0	8.3	41.7	41.7	0.0	8.3	50.0	50.0
	理学部	69	23.2	27.5	23.2	10.1	13.0	2.9	73.9	26.1
	工学部	137	16.8	22.6	35.8	16.1	7.3	1.5	75.2	24.8
農学部	28	7.1	28.6	35.7	7.1	17.9	3.6	71.4	28.6	
性別	男	287	17.8	26.1	30.0	15.0	7.7	3.5	73.9	26.1
	女	148	14.9	29.7	32.4	13.5	8.1	1.4	77.0	23.0
秋入学賛否別	賛成である	48	22.9	20.8	20.8	20.8	8.3	6.3	64.6	35.4
	どちらかといえば賛成している	81	21.0	30.9	27.2	18.5	1.2	1.2	79.0	21.0
	賛成とも反対ともいえない	157	10.8	31.8	34.4	14.6	7.6	0.6	77.1	22.9
	どちらかといえば反対である	92	17.4	18.5	38.0	12.0	13.0	1.1	73.9	26.1
	反対である	59	23.7	28.8	22.0	6.8	8.5	10.2	74.6	25.4
	賛成・計	129	21.7	27.1	24.8	19.4	3.9	3.1	73.6	26.4
反対・計	151	19.9	22.5	31.8	9.9	11.3	4.6	74.2	25.8	

表8 小学校から高等学校まで、すべての教育機関で秋入学を実施することは必要か

Q7.5 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／小学校から高等学校まで、すべての教育機関で秋入学を実施すること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		437	13.3	13.7	16.2	19.9	24.5	12.4	43.2	56.8
学部別	文系・計	137	9.5	13.1	14.6	23.4	25.5	13.9	37.2	62.8
	文学部	50	8.0	14.0	10.0	26.0	30.0	12.0	32.0	68.0
	教育学部	15	6.7	20.0	20.0	26.7	6.7	20.0	46.7	53.3
	法学部	26	15.4	7.7	15.4	30.8	23.1	7.7	38.5	61.5
	経済学部	46	8.7	13.0	17.4	15.2	28.3	17.4	39.1	60.9
	理系・計	298	15.1	14.1	17.1	18.1	23.8	11.7	46.3	53.7
	医学部	47	8.5	14.9	21.3	17.0	34.0	4.3	44.7	55.3
	歯学部	5	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	60.0	40.0
	薬学部	12	8.3	25.0	16.7	16.7	8.3	25.0	50.0	50.0
	理学部	69	15.9	18.8	20.3	15.9	18.8	10.1	55.1	44.9
性別	工学部	137	16.1	12.4	11.7	21.9	21.9	16.1	40.1	59.9
	農学部	28	21.4	7.1	25.0	10.7	32.1	3.6	53.6	46.4
性別	男	287	12.9	14.6	15.3	20.6	22.6	13.9	42.9	57.1
	女	148	14.2	12.2	18.2	18.2	27.7	9.5	44.6	55.4
秋入学賛否別	賛成である	48	10.4	8.3	16.7	14.6	27.1	22.9	35.4	64.6
	どちらかといえば賛成している	81	8.6	12.3	16.0	28.4	30.9	3.7	37.0	63.0
	賛成とも反対ともいえない	157	10.2	12.1	15.9	26.1	24.8	10.8	38.2	61.8
	どちらかといえば反対である	92	9.8	21.7	20.7	13.0	26.1	8.7	52.2	47.8
	反対である	59	35.6	11.9	10.2	6.8	10.2	25.4	57.6	42.4
	賛成・計	129	9.3	10.9	16.3	23.3	29.5	10.9	36.4	63.6
	反対・計	151	19.9	17.9	16.6	10.6	19.9	15.2	54.3	45.7

表9 入学予定者を対象とした、移行期間に行われる各種プログラムを充実させることは必要か

Q7.6 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／入学予定者を対象とした、移行期間に行われる各種プログラムを充実させること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		436	28.4	37.6	25.5	5.3	1.8	1.4	91.5	8.5
学部別	文系・計	136	23.5	41.9	26.5	4.4	2.2	1.5	91.9	8.1
	文学部	50	22.0	42.0	28.0	8.0	0.0	0.0	92.0	8.0
	教育学部	15	13.3	66.7	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	法学部	25	20.0	44.0	28.0	0.0	8.0	0.0	92.0	8.0
	経済学部	46	30.4	32.6	26.1	4.3	2.2	4.3	89.1	10.9
	理系・計	298	30.2	35.9	25.2	5.7	1.7	1.3	91.3	8.7
	医学部	47	31.9	34.0	29.8	2.1	2.1	0.0	95.7	4.3
	歯学部	5	20.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	薬学部	12	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	理学部	69	39.1	34.8	15.9	7.2	1.4	1.4	89.9	10.1
	工学部	137	25.5	38.0	24.8	8.0	1.5	2.2	88.3	11.7
農学部	28	32.1	21.4	42.9	0.0	3.6	0.0	96.4	3.6	
性別	男	287	31.7	34.8	23.7	6.3	1.7	1.7	90.2	9.8
	女	147	21.1	43.5	29.3	3.4	2.0	0.7	93.9	6.1
秋入学賛否別	賛成である	48	33.3	29.2	22.9	8.3	4.2	2.1	85.4	14.6
	どちらかといえば賛成している	81	27.2	42.0	25.9	1.2	3.7	0.0	95.1	4.9
	賛成とも反対ともいえない	156	26.9	42.3	23.1	6.4	0.6	0.6	92.3	7.7
	どちらかといえば反対である	92	22.8	39.1	31.5	4.3	2.2	0.0	93.5	6.5
	反対である	59	39.0	23.7	23.7	6.8	0.0	6.8	86.4	13.6
	賛成・計	129	29.5	37.2	24.8	3.9	3.9	0.8	91.5	8.5
反対・計	151	29.1	33.1	28.5	5.3	1.3	2.6	90.7	9.3	

表 10 「学生割引」など、学生を対象とした優遇措置を入学予定者へも適用することは必要か

Q7.7 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／「学生割引」など、学生を対象とした優遇措置を入学予定者へも適用すること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		436	35.6	34.4	19.7	6.9	3.0	0.5	89.7	10.3
学部別	文系・計	137	30.7	36.5	24.8	4.4	2.9	0.7	92.0	8.0
	文学部	50	32.0	38.0	28.0	0.0	2.0	0.0	98.0	2.0
	教育学部	15	20.0	46.7	26.7	6.7	0.0	0.0	93.3	6.7
	法学部	26	34.6	34.6	15.4	11.5	3.8	0.0	84.6	15.4
	経済学部	46	30.4	32.6	26.1	4.3	4.3	2.2	89.1	10.9
	理系・計	297	37.4	33.7	17.5	8.1	3.0	0.3	88.6	11.4
	医学部	47	40.4	31.9	14.9	8.5	4.3	0.0	87.2	12.8
	歯学部	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	80.0	20.0
	薬学部	12	41.7	41.7	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	理学部	69	44.9	33.3	14.5	4.3	1.4	1.4	92.8	7.2
性別	工学部	136	31.6	35.3	18.4	11.0	3.7	0.0	85.3	14.7
	農学部	28	39.3	28.6	25.0	3.6	3.6	0.0	92.9	7.1
性別	男	286	34.6	31.8	20.6	8.7	4.2	0.0	87.1	12.9
	女	148	36.5	39.9	18.2	3.4	0.7	1.4	94.6	5.4
秋入学賛否別	賛成である	48	47.9	33.3	6.3	2.1	6.3	4.2	87.5	12.5
	どちらかといえば賛成している	81	39.5	37.0	16.0	6.2	1.2	0.0	92.6	7.4
	賛成とも反対ともいえない	157	31.8	33.8	26.8	5.7	1.9	0.0	92.4	7.6
	どちらかといえば反対である	92	27.2	41.3	18.5	8.7	4.3	0.0	87.0	13.0
	反対である	58	43.1	22.4	19.0	12.1	3.4	0.0	84.5	15.5
	賛成・計	129	42.6	35.7	12.4	4.7	3.1	1.6	90.7	9.3
反対・計	150	33.3	34.0	18.7	10.0	4.0	0.0	86.0	14.0	

表 11 移行期間における部活動やサークル活動への参加を認めることは必要か

Q7.8 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／移行期間における部活動やサークル活動への参加を認めること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		436	16.7	31.2	27.3	15.4	6.7	2.8	75.2	24.8
学部別	文系・計	137	13.9	28.5	27.7	19.0	6.6	4.4	70.1	29.9
	文学部	50	12.0	30.0	34.0	14.0	8.0	2.0	76.0	24.0
	教育学部	15	6.7	33.3	20.0	40.0	0.0	0.0	60.0	40.0
	法学部	26	7.7	19.2	30.8	26.9	7.7	7.7	57.7	42.3
	経済学部	46	21.7	30.4	21.7	13.0	6.5	6.5	73.9	26.1
	理系・計	297	17.8	32.7	27.3	13.8	6.4	2.0	77.8	22.2
	医学部	46	8.7	34.8	30.4	15.2	10.9	0.0	73.9	26.1
	歯学部	5	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	0.0	80.0	20.0
	薬学部	12	16.7	50.0	8.3	8.3	16.7	0.0	75.0	25.0
	理学部	69	29.0	29.0	21.7	11.6	5.8	2.9	79.7	20.3
	工学部	137	18.2	35.0	27.7	12.4	3.6	2.9	81.0	19.0
農学部	28	7.1	25.0	32.1	25.0	10.7	0.0	64.3	35.7	
性別	男	286	19.9	29.4	26.2	17.1	5.2	2.1	75.5	24.5
	女	148	10.1	35.1	29.7	12.2	8.8	4.1	75.0	25.0
秋入学賛否別	賛成である	47	27.7	29.8	14.9	14.9	8.5	4.3	72.3	27.7
	どちらかといえば賛成している	81	9.9	39.5	30.9	13.6	4.9	1.2	80.2	19.8
	賛成とも反対ともいえない	157	14.0	28.7	33.1	13.4	8.3	2.5	75.8	24.2
	どちらかといえば反対である	92	10.9	33.7	25.0	21.7	4.3	4.3	69.6	30.4
	反対である	59	33.9	23.7	20.3	13.6	6.8	1.7	78.0	22.0
	賛成・計	128	16.4	35.9	25.0	14.1	6.3	2.3	77.3	22.7
反対・計	151	19.9	29.8	23.2	18.5	5.3	3.3	72.8	27.2	

表 12 卒業と就職との間にギャップが生じないような採用システムをつくることは必要か

Q7.9 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／卒業と就職との間にギャップが生じないような採用システムをつくること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		435	54.0	30.1	12.4	2.1	0.0	1.4	96.6	3.4
学部別	文系・計	136	47.8	33.1	15.4	2.2	0.0	1.5	96.3	3.7
	文学部	49	44.9	38.8	12.2	2.0	0.0	2.0	95.9	4.1
	教育学部	15	26.7	46.7	20.0	6.7	0.0	0.0	93.3	6.7
	法学部	26	61.5	30.8	7.7	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	経済学部	46	50.0	23.9	21.7	2.2	0.0	2.2	95.7	4.3
	理系・計	297	56.6	29.0	11.1	2.0	0.0	1.3	96.6	3.4
	医学部	47	59.6	31.9	8.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	歯学部	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	薬学部	12	25.0	58.3	8.3	0.0	0.0	8.3	91.7	8.3
	理学部	69	68.1	17.4	10.1	2.9	0.0	1.4	95.7	4.3
性別	工学部	136	53.7	30.9	11.8	2.2	0.0	1.5	96.3	3.7
	農学部	28	50.0	32.1	14.3	3.6	0.0	0.0	96.4	3.6
性別	男	286	53.5	30.1	12.6	2.1	0.0	1.7	96.2	3.8
	女	147	54.4	30.6	12.2	2.0	0.0	0.7	97.3	2.7
秋入学賛否別	賛成である	47	48.9	38.3	6.4	2.1	0.0	4.3	93.6	6.4
	どちらかといえば賛成している	81	54.3	29.6	12.3	2.5	0.0	1.2	96.3	3.7
	賛成とも反対ともいえない	156	51.3	28.8	17.3	1.9	0.0	0.6	97.4	2.6
	どちらかといえば反対である	92	52.2	37.0	8.7	2.2	0.0	0.0	97.8	2.2
	反対である	59	67.8	16.9	10.2	1.7	0.0	3.4	94.9	5.1
	賛成・計	128	52.3	32.8	10.2	2.3	0.0	2.3	95.3	4.7
反対・計	151	58.3	29.1	9.3	2.0	0.0	1.3	96.7	3.3	

表 13 現在の就職活動における新卒一括採用への偏重を是正することは必要か

Q7.10 あなたは、自分の大学が秋入学を導入することになったとして、その導入にあたり、以下のようなことはどの程度必要だと思いますか。／現在の就職活動における新卒一括採用(定期採用)への偏重を是正すること		該当数	非常に必要だと思う	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	どちらかといえば必要だと思わない	必要だとは思わない	まったく必要だとは思わない	必要だと思う・計	必要だと思わない・計
全体		435	43.7	30.1	20.5	3.4	1.6	0.7	94.3	5.7
学部別	文系・計	137	48.2	30.7	16.8	2.2	1.5	0.7	95.6	4.4
	文学部	50	48.0	32.0	16.0	4.0	0.0	0.0	96.0	4.0
	教育学部	15	40.0	40.0	13.3	6.7	0.0	0.0	93.3	6.7
	法学部	26	46.2	30.8	19.2	0.0	3.8	0.0	96.2	3.8
	経済学部	46	52.2	26.1	17.4	0.0	2.2	2.2	95.7	4.3
	理系・計	296	41.2	30.1	22.3	4.1	1.7	0.7	93.6	6.4
	医学部	47	31.9	44.7	19.1	2.1	2.1	0.0	95.7	4.3
	歯学部	5	60.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	薬学部	12	16.7	58.3	16.7	0.0	0.0	8.3	91.7	8.3
	理学部	67	46.3	26.9	22.4	1.5	3.0	0.0	95.5	4.5
性別	工学部	137	43.8	25.5	22.6	6.6	0.7	0.7	92.0	8.0
	農学部	28	39.3	25.0	28.6	3.6	3.6	0.0	92.9	7.1
秋入学賛否別	男	285	42.5	29.1	22.5	3.2	2.1	0.7	94.0	6.0
	女	148	45.3	32.4	16.9	4.1	0.7	0.7	94.6	5.4
秋入学賛否別	賛成である	48	54.2	29.2	12.5	0.0	2.1	2.1	95.8	4.2
	どちらかといえば賛成している	81	40.7	34.6	23.5	1.2	0.0	0.0	98.8	1.2
	賛成とも反対ともいえない	157	39.5	29.9	24.2	5.1	1.3	0.0	93.6	6.4
	どちらかといえば反対である	90	36.7	36.7	18.9	4.4	3.3	0.0	92.2	7.8
	反対である	59	61.0	15.3	15.3	3.4	1.7	3.4	91.5	8.5
	賛成・計	129	45.7	32.6	19.4	0.8	0.8	0.8	97.7	2.3
反対・計	149	46.3	28.2	17.4	4.0	2.7	1.3	91.9	8.1	

Q8 春入学，秋始業スケジュール案の賛否

いくつかの大学が導入を検討している「春入学，秋始業案」を図示し（右図），それへの賛否を尋ねた。

『a. 賛成である』『b. どちらかといえば賛成している』の回答の合計である『賛成・計』は約30%，『d. どちらかといえば反対である』『e. 反対である』の回答の合計である『反対・計』は30%台後半であり，賛成と反対，その他の立場の学生の割合が拮抗していることが示された。

ただし，秋入学賛否別に見てみると，秋入学賛成の立場の学生は『賛成・計』が42.6%であるのに対し，秋入学反対の立場の学生は『反対・計』55.6%であり，入学時期が春か秋かの問題ではなく，始業が秋であることに対して反対意見をもっていることがうかがわれる。

秋入学スケジュール案

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月

現行	入学	夏学期			冬学期		
----	----	-----	--	--	-----	--	--

★新スケジュール案

1年目	入学	プロレグ ラシム	サマー プログラム	1学期		2学期	
		希望者は 自主的な活動					
2年目	2学期		サマー プログラム	3学期		4学期	
3年目	4学期		サマー プログラム	5学期		6学期	
4年目	6学期		サマー プログラム	7学期		8学期	卒業

 長期休業

表 14 「春入学，秋始業」の案について，どのように思うか

Q8 現在、日本のいくつかの大学で秋入学に関して検討が進められていますが、その中では本調査で仮定したような「秋入学、夏卒業」とせず、右の図のような、入学時期を現行通りとし、始業を秋にするという案(実質3.5年の修学期間)が提案されています。こうした秋始業の案について、あなたご自身はどのように思いますか		該当数	a . 賛成である	b . どちらかといえば賛成である	c . 賛成とも反対ともいえない	d . どちらかといえば反対である	e . 反対である	賛成・計	反対・計
全体		436	8.7	20.6	33.5	24.1	13.1	29.4	37.2
学部別	文系・計	137	8.0	23.4	31.4	25.5	11.7	31.4	37.2
	文学部	50	8.0	30.0	22.0	30.0	10.0	38.0	40.0
	教育学部	15	6.7	20.0	20.0	20.0	33.3	26.7	53.3
	法学部	26	3.8	26.9	26.9	30.8	11.5	30.8	42.3
	経済学部	46	10.9	15.2	47.8	19.6	6.5	26.1	26.1
	理系・計	297	9.1	19.5	34.7	23.6	13.1	28.6	36.7
	医学部	47	4.3	29.8	25.5	29.8	10.6	34.0	40.4
	歯学部	5	20.0	0.0	60.0	20.0	0.0	20.0	20.0
	薬学部	12	0.0	0.0	50.0	25.0	25.0	0.0	50.0
	理学部	69	14.5	18.8	24.6	26.1	15.9	33.3	42.0
	工学部	137	6.6	20.4	40.9	18.2	13.9	27.0	32.1
	農学部	27	18.5	11.1	33.3	33.3	3.7	29.6	37.0
性別	男	287	9.8	20.9	32.1	23.3	13.9	30.7	37.3
	女	147	6.8	20.4	36.7	25.9	10.2	27.2	36.1
秋入学賛否別	賛成である	48	25.0	16.7	29.2	16.7	12.5	41.7	29.2
	どちらかといえば賛成している	81	8.6	34.6	32.1	17.3	7.4	43.2	24.7
	賛成とも反対ともいえない	156	9.0	23.7	39.1	22.4	5.8	32.7	28.2
	どちらかといえば反対である	92	4.3	15.2	31.5	41.3	7.6	19.6	48.9
	反対である	59	1.7	5.1	27.1	16.9	49.2	6.8	66.1
	賛成・計	129	14.7	27.9	31.0	17.1	9.3	42.6	26.4
反対・計	151	3.3	11.3	29.8	31.8	23.8	14.6	55.6	

※ 『a. 賛成である』『b. どちらかといえば賛成している』『c. 賛成とも反対ともいえない』『d. どちらかといえば反対である』『e. 反対である』の5件法。『賛成・計』は『a. 賛成である』と『b. どちらかといえば賛成している』との、『反対・計』は『d. どちらかといえば反対である』と『e. 反対である』との回答の合計。

Q8-2 春入学・秋始業案に対する自由記述

続けて、春入学・秋始業案に関する賛否の理由について自由記述で回答を求めた。

187名（42.8%）が何らかの記述をし、そのべ件数は235件となり、回答者の比率の高さはこの案に対する学生の関心の強さを表している。これら自由記述を以下の現行スケジュールと比較した際の6つの特徴に着目して整理した（表15）。

表15 春入学・秋始業案の特徴とそれらに対する意見数

特徴	内容	意見数
1.入学・卒業時期の不変	4月入学・3月卒業という点で現行スケジュールと変わらないこと	37
2.9月始業	海外大学との交流促進のため始業時期を9月にすること	9
3.開講期間の縮減	上記1.2.の点から開講期間が3.5年に縮減されること	55
4.空白期間の出現	上記1.2.の点から、大学入学後、始業まで、正式な授業が行われない6か月の期間が出現すること	39
5.夏季休業とサマープログラム	各学年において、より長期の夏季休みが設定され、サマープログラムが実施されること	33
6.その他学事歴の大幅な変更	開講月、春休みなど大きく現行と異なってくること	50
※全般	上記の諸特徴に基づかないその他の意見	12

以下では、この諸特徴に沿って自由記述の概要を示す。

1. 入学・卒業時期の不変

「秋から授業がスタートするが、入学も卒業も現行のまま」、というのがこの案の最大の特徴である。この特徴に関連して、37件の自由回答が記されたが、これに対して更に整理を行った。手順としては、まず賛成の意見か反対の意見かに分け、更に内容の類似性により分類し、複数の記述から構成されるものを下位カテゴリとして抽出した。結果を表16に示す。

賛否でいえば、賛成31件（83.8%）、反対5件（13.5%）、保留1件（2.7%）となり、賛成が大部分を占める。しかしながら、賛成の下位カテゴリとしては、就職等に支障が出ないと予測する「他の社会制度とのずれの少なさ」、大学生という肩書を有することができるという「無所属回避」、現行制度からの漠然とした「変化の少ないこと」など、積極的な賛成というよりは保守的な意味合いでの消極的賛成がその多くを占めていることに気が付く。このほかの賛成の理由では「季節感」があった。一方、反対の意見としては夏に卒業すべきという意見が認められる。

2. 9月始業

第2の特徴である「9月始業」に関しては、賛否が拮抗（賛成：5件、反対：4件）しており、その内容も留学を中心とする国際交流が盛んになると見込むか否かの点に集中している(表 17)。

表 16 「入学・卒業時期の不変」に関する賛否

賛否	下位カテゴリ	件数	代表的記述
賛成	他の社会制度とのずれの少なさ	14	卒業の時期が変わらないことや、就職に支障が出ないと思われるから。
	無所属回避	9	大学に入学しているという安心感があるから。
	変化の少ないこと	6	これが1番現行制度からの移行を考えると、現実的な案だと思います。
	季節感	2	入学は桜が咲く季節が良い。
反対	夏卒業	5	日本の制度に合わせたスケジュールにするという考えも分かるが、やるなら海外と同様のものにするべきだと思う。
保留		1	卒期が他の学生と一緒にではなく、夏卒業などにしておけば新卒の就活にもそれなりのチャンスを得られると思う。勿論、夏卒を踏まえた上での募集を行うのであればの話ですが。そういった面を抜きにするのであれば、特に現行の案でも構わないと思います。

表 17 「9月始業」に関する賛否

賛否	下位カテゴリ	件数	代表的記述
賛成	国際化への期待	5	秋入学を実施することによって、海外へ留学する人が増え、同時に海外から日本へ留学に来る人が増え、社会がより流動的に活発化することが確実に見込まれるなら、実施すべきだろう。
反対	国際化への疑問	4	秋入学を導入したからといって、留学が盛んになるとは限らない。

3. 開講期間の縮減

3.5年に開講が縮減される点に関しては、先に挙げた6つの特徴の中では最多である55件の自由記述が認められた。その賛否は、賛成3件(5.5%)、反対51件(92.7%)、保留1件(1.8%)となり、反対が圧倒的に多い(表 18)。

賛成者は、現行のカリキュラムには時間的な余裕があると考えており「実現可能」と判断している。

一方で、反対者の理由には、特段の「理由の明示のない反対」が最も多くを占めているが、「修得内容減少への懸念」「詰め込みへの懸念」「しわ寄せへの懸念」など、縮減から生じうる種々の好ましくない事態に意識を向けている者も多い。また、そもそも縮減に見合うメリットがあるのかという疑問(「低利益・高コスト」)を持つものも存在する。

表 18 「修学期間の縮減」に関する自由記述

賛否	下位カテゴリ	件数	代表的記述
賛成	実現可能	3	時間を持て余している人が大勢いるから、実質3.5年にしても変わらない。
反対	理由の明示のない反対	20	現在の制度よりも大学での学習期間が短くなるのはよくないと思う。
	修得内容減少への懸念	11	学力を身につけられるか不安。
	詰め込みへの懸念	8	半年短くなる分、授業に時間的なゆとりがなくなるのではないか。
	しわ寄せへの懸念	7	卒業研究などの時間が実質削られてしまっていると思う。
	低利益・高コスト	5	実質的な修学期間を短くしてまで「国際化」する必要があるのか？
保留		1	現行のカリキュラムから量をへらすのか分からないから。

4. 空白期間の出現

大学入学後、始業までの6か月間正式な授業が行われない期間が出現することに関しては、賛成11件(28.2%)、反対27件(69.2%)、保留1件(2.5%)となり、反対が7割を占めている(表19)。

賛成理由は「自由時間への期待」「フレッシュプログラム等への期待」の2つに大別され、新入生の意欲あふれる姿勢を反映している。

一方、反対理由には「時間の無駄」「意欲の低下への懸念」「自主的な活動への懸念」などが挙げられた。「時間の無駄」は空白期間を有意義に利用できないという否定的な態度を示し、「意欲の低下への懸念」「自主的な活動への懸念」は共に学生の入学前の動機づけの高さが維持されないことを見越したものである。「保留」の意見に見られるように、ここでの賛否は「結局は空白の期間に何をするか」に依ってくるものであろう。

表 19 「空白期間の出現」に関する自由記述

賛否	下位カテゴリ	件数	代表的記述
賛成	自由時間への期待	7	受験が終わった後の半年間という期間に、受験中にできなかった体験や受験中のモチベーションのままさまざまなことを行うということに意味があると思う。
	フレッシュプログラム等への期待	4	秋までの期間を空白にせず、何らかのプログラムを挟んだ方が建設的で良いと考えたから。
反対	時間の無駄	11	春に入学し、半年も本格的な授業を行わないのであれば、何のために入学したのかわからなくなる。
	意欲の低下への懸念	10	入学当初は学生のモチベーションも総じて高く、入学直後に長期休暇に入ることは、そのモチベーションを潰しかねない。

自主的な活動への懸念	4	「フレッシュ・サマープログラム」選択者と「自主的な活動」選択者との間で小さからぬ格差が生まれそうだから。
その他の反対	2	0.5年分の経済的負担
保留	1	結局は空白の期間に何をするかが重要

5. 夏季休業とサマープログラム

前述の空白期間のうち後半の3カ月は、上級生にとって夏季休業ないしはサマープログラムに相当する。夏季休業は現行より約1カ月長くなっている。夏季休業の長さまたはサマープログラムの実施に対する賛否は、賛成5件(15.2%)、反対15件(45.5%)、保留13件(39.4%)となり、保留の比率の高さが目を引く。保留の理由のほとんどは、サマープログラムの詳細が不明なことに起因している(表20)。

賛成の意見は、「夏休みが長期化」「サマープログラムへの期待」に大別される。

一方で、反対理由の最も多い意見は「サマープログラムへの疑義」であり、夏季休業中といえども半ば強制的にサマープログラムへの参加を促されるのではないかという懸念を中心としている。続いて「サマープログラム・夏休みの長さ」であり、これらは賛成の理由の裏返しとなっている点が興味深い。また「怠惰に過ごすことへの懸念」も挙げられ、ここでの自由記述は総じて、先に見た“空白期間の出現”の理由と同様、自由に活動できる長い期間において自分を律してゆけるか否かという点に集約されよう。

表20 「夏季休業とサマープログラム」に関する自由記述

賛否	下位カテゴリ	件数	代表的記述
賛成	夏休みの長期化	3	まとまった自由活動の時間が増えるのは良い。
	サマープログラムへの期待	2	サマープログラムで個人の裁量に任せて多様な学習活動が行えると思うから。
反対	サマープログラムへの疑義	7	大学側がプログラムを準備すると、学生が本当にやりたい活動をできなくなる可能性があり、メリットを感じられないから。
	サマープログラム・夏休みの長さ	4	サマープログラムを行うとはいえ、さすがに夏休みが長過ぎると思う。
	怠惰に過ごすことへの懸念	3	夏の休みの期間があまりにも長く、大学での学習内容を忘れたり、自分を律せなくなったりしそうだから。
	その他の反対	1	サマープログラムの内容が定かでないため、具体的なことは言えないが、家庭の状況によってサマープログラムの取り組み方も変わってくると考える。その結果として、生徒の間に大きな差が生まれる可能性があるのではないか。
保留		13	サマープログラムがどのようなものかわからないし、何とも言えない。

6. その他学事歴の大幅な変更

春入学・秋始業のスケジュール案は、夏季休業の長期化以外にも多くの点で現行の学事歴と異なってくる。“その他の学事歴の大幅な変更”はそれらの変更点に関してまとめたもので、50件と比較的多くの件数を数える。賛否の内訳は、賛成2件(4.0%)、反対47件(94.0%)、保留1件(2.0%)、と反対が大多数を占めている(表21)。

最も多かった反対意見は、一か月弱になると思われる「春休みの短縮」である。また、夏季休業の長さに関連して「長期休業のバランスの悪さ」に言及するものも多い。また、第8セメスターは他のセメスターと比べ半分以上の長さで見込まれるがこれに対する反対意見(「第8セメスターの短さ」)も多い。更に、2月は開講期間に充てられるが、東北地方にあっては降雪時期となるため「冬季の通学」に懸念を示す者もいる。このほか、変更全般に関する理由となるが、「伝統の破壊」「変化への抵抗感」「高コスト」「格差の出現」などの意見が認められた。

表21 「その他学事歴の大幅な変更」に関する自由記述

賛否	下位カテゴリ	件数	代表的記述
賛成	—	2	半年遅れの入学生のカリキュラムとしては無難で妥当だと思う。
反対	春休みの短縮	13	春休みも欲しいです。
	第8セメスターの短さ	7	8学期の存在意義が分からない。
	長期休業のバランスの悪さ	6	長期休業の夏と春のバランスが悪い事。長期休みは分割されていた方が自由度が高いから。
	冬季の通学	5	また、多降雪地域限定の問題ではあるが、最も降雪量の多い2、3月に授業期間を設けると、公共交通機関ダウンや路面凍結によって、通学が困難となる学生の増加に繋がる可能性がある。
	伝統の破壊	4	今までの日本の伝統を崩すべきではない。
	変化への抵抗感	3	今のスケジュールに慣れてしまっているから。
	高コスト	3	秋入学の導入にあたって、教授たちや大学側、さらに在学中の学生にも対応を求めなければならない。
	格差の出現	3	一部の大学で導入されただけでは他大学との差もある。
	その他の反対	3	休日の日程や学位のシステムについても、慎重に議論されるべきである。
保留		1	自分が在学中にはあまり一年のスケジュールのリズムをかえてほしくないが、今の案が採用されたら採用されたうまく適応はできると思うから。

以上、総じて春入学・秋始業のスケジュール案に対しては反対の自由記述が多く、自由記述を記載するような関心の高い学生は、変化に対し抵抗を感じる慎重なあるいは保守的な学生が多いことが示唆される。反対の理由としては、(1)始業までの半年間あるいは各学年における長期の夏季休業において生産的な活動ができないのではないかという懸念、(2)3.5年という授業実施期間の短縮から生じる

修学上の懸念、(3)サマープログラムの不透明さ、などに集約される。一方でこれら反対派の学生にとっては、秋始業の目的である“国際化”が、これらの懸念と釣り合うほどの魅力を有していないと考えることができる。

秋入学や秋始業を目指す大学は、学生たちの前述の懸念の払拭と共にそのメリットや必要性も伝える努力も必要となろう。

Q9 最も魅力を感じる入学・卒業時期の方式

「Q9 大学の入学や卒業の時期に関して、どの方式に最も魅力を感じますか」に対して、『a. 春入学・春卒業とし、そのまますぐに就職する方式(現行通り)』を選択した学生の割合がもっとも多かった(44.0%)。この傾向は、秋入学賛否別での秋入学反対の立場の学生において顕著であった(79.7%)。秋入学賛成の立場の学生においては、多かった順に『c. 秋入学・夏卒業とし、そのまま秋にすぐ就職する方式(現在の採用システムも変える)』(39.1%)、『b. 秋入学・夏卒業とし、翌春の就職までの間にも移行期間を有する方式』(32.0%)、『d. 上記 Q7 で提案されているような春入学・秋始業・春卒業とする方式』(18.0%)、『a. 春入学・春卒業とし、そのまますぐに就職する方式(現行通り)』(7.8%)であり、何らかの変更を期待している学生が多いことが示唆された。

表 22 「Q9 大学の入学や卒業の時期に関して、あなたは、どの方式に最も魅力を感じますか」

Q9 大学の秋入学をめぐる検討については、本調査で仮定したような「秋入学、夏卒業」や上記Q8で述べたような「春入学、秋始業、春卒業」とは異なるやり方があると考えられます。そこで、大学の入学や卒業の時期に関して、あなたは以下のa.~e.選択肢のうち、どの方式に最も魅力を感じますか。あてはまるもの1つにだけ、その記号に○をつけてください		該当数	に春就職する・春方式（現行、そのまますぐ）	で秋の入学にも夏移行期間を有する方式	テす秋ムぐ入も就変職えする方式（現、その採用ま秋スに）	上記Q7	～その他の方式（具体的に）
全体		430	44.0	17.9	22.1	13.3	2.8
学部別	文系・計	135	49.6	22.2	14.8	11.1	2.2
	文学部	50	50.0	24.0	10.0	14.0	2.0
	教育学部	15	80.0	6.7	0.0	13.3	0.0
	法学部	25	40.0	24.0	24.0	12.0	0.0
	経済学部	45	44.4	24.4	20.0	6.7	4.4
	理系・計	293	41.6	15.7	25.3	14.3	3.1
	医学部	47	46.8	21.3	12.8	17.0	2.1
	歯学部	5	0.0	20.0	80.0	0.0	0.0
	薬学部	12	33.3	25.0	33.3	8.3	0.0
	理学部	68	45.6	10.3	29.4	11.8	2.9
	工学部	135	41.5	13.3	25.2	17.0	3.0
	農学部	26	34.6	26.9	23.1	7.7	7.7
性別	男	282	41.8	16.3	24.8	13.1	3.9
	女	146	48.6	20.5	16.4	13.7	0.7
秋入学賛否別	賛成である	47	4.3	36.2	31.9	19.1	8.5
	どちらかといえば賛成している	81	9.9	29.6	43.2	17.3	0.0
	賛成とも反対ともいえない	154	39.6	17.5	24.7	16.2	1.9
	どちらかといえば反対である	90	73.3	7.8	5.6	8.9	4.4
	反対である	58	89.7	3.4	3.4	1.7	1.7
	賛成・計	128	7.8	32.0	39.1	18.0	3.1
反対・計	148	79.7	6.1	4.7	6.1	3.4	

Q10 秋入学導入や移行期間に関する心配・希望すること

1.各カテゴリーの構造および下位分類

Q10 の秋入学の導入や移行期間に関して心配な点や希望することの自由記述方式における分類として、KJ 法を採用して分析を行った。調査協力者 437 名のうち、問 10 の回答数は 159 であり、回答率は 36.38%であった。また、複数のカテゴリーにわたって記載がある場合は、複数回答として複数のカテゴリーに分類するように割り当てた。その結果、以下の 3 つのカテゴリーに分類された。

I に関しては、秋入学の導入や移行期間に関しての様々な個人的不安や問題点に関して記載されていたことから、「個人の抱える不安や問題」と名付けた。

II に関しては、移行期間内での様々な制度の充実や、統一的以降制度の導入についての意見、生徒間・学校間の格差の点、制度上の改善点および説明責任などといった点に関して記載されていることから、「制度上の不安や問題」と名付けた。

III に関しては、文化的配慮した秋入試への不支持的な意見や、準備期間の確保等の支持的な意見などから、「支持・不支持に関する意見」と名付けた。

次に、各カテゴリーの下位分類において、度数が 2 以上のものをカテゴリーにまとめた。また、各カテゴリーの回答例に関しては、調査協力者の自由記述文章を要約したものである。

「I. 個人の抱える不安や問題」の下位カテゴリーとして、＜秋に就職する制度の必要性＞や、＜就職活動の心配＞などの“就職への不安(n=23)”，＜金銭的に親に迷惑はかけられないこと＞や、＜経済的負担が増加する＞などの“経済面への不安(n=14)”，＜授業のない間の学力低下が著しい＞や、＜移行期間は遊ぶ時間になってしまい、学生の質が下がる＞などの“学力面への不安(n=14)”，＜移行期間における生活がどのようなものになるかが心配＞や、＜だらだらと生活してしまう恐れ＞などの“生活面への不安(n=14)”，＜何をして良いのか分からない＞や、＜高卒後いきなり半年間も暇にするのだけは避けて欲しい＞などの“時間の使用方法への不安(n=8)”，＜大学入試後のモチベーションを保てるか＞や、＜高校から大学までの半年間で意欲がなくなってしまうことが不安＞などの“モチベーション低下への不安(n=7)”，＜高校生とも大学生とも言いにくい微妙な立場に置かれる＞や、＜社会的身分がはっきりしない＞などの“所属や身分の不安定さ(n=7)”，＜寮への入寮可能時期が分からない＞や、＜部屋探しは困難になりそう＞などの“住居の移転等の問題(n=4)”が挙げられた(表 23)。

「II. 制度上の不安や問題」の下位カテゴリーとして、＜移行期間中の勉強・サークル・ゼミのプログラムがあると思う＞や、＜始業前でも授業の聴講のみできるようにしてほしい＞などの“移行期間のプログラムの充実(n=35)”，＜秋入学を導入するにあたって、大学だけでなく小～高校までの教育期間や就職に関しても何かしら変える必要は出てくるだろう＞や、＜入学時期を変更するなら、大学だけでなく徹底的に変えるべきだ＞などの“統一的移行制度の導入(n=19)”，＜秋入学を採用して得られるメリットがよく分からないので、しっかり説明して欲しい＞や、＜なぜグローバル化しなくてはいけないのか分からない＞などの“意義やメリット・デメリット等の説明不足(n=10)”，＜生徒間での格差が大きくなるのではないかという不安がある＞や、＜大学に入学してからの、春入学の学生との差を埋められるようにしたい＞などの“生徒間格差の問題(n=9)”，＜英語が話せない、書けないという現状では留学を希望する人は出ないと思う＞や、＜秋入学にしたからと言って留学希望者が大幅に増えるとは思えない＞などの“留学制度の改善・充実(n=7)”，＜大学ごとに差が生じること（卒業時期）＞や、＜学秋入学を実施していない大学の学生との就職の差＞などの“学校間格差の問題(n=6)”，＜結論がまとまらないうちに実施して、後から制度が変わっていき振り回されること＞や、

<何かしらの問題が生じて春入学に戻したなら、秋入学者は振り回されてしまう>などの“不安定な制度の問題(n=2)”が挙げられた(表 24)。

「Ⅲ. 支持・不支持に関する意見」の下位カテゴリーとして、<春には春の風景の中で、別れと出会いがあって欲しい>や、<春入学は日本の文化の一部であると思うので、そこは今まで通りにして欲しい>などの“文化的配慮の必要性(n=8)”，<秋入学になれば時間もでき、旅行など色々なことができ大変良いと思う>や、<1人暮らしを始める人にとっては準備期間になりとても嬉しい>などの“準備期間の確保(n=6)”，<全ての不安を取り除けない限りは、秋入学等を導入するには慎重になった方が良く思う>や、<早く次のステップに行きたいのに立ち止まるのは嫌だ>などの“不支持の意見(n=6)”が挙げられた(表 25)。

また、「その他」としては、“特になし”が6名存在し、それ以外としては共通性があるカテゴリーを見出されなかった。

表 23 個人の抱える不安や問題の下位カテゴリー

カテゴリーを構成する要因	回答例	
I 個人 の 抱 え る 不 安 や 問 題	就職への不安(n=23)	秋に就職する制度の必要性。 就職活動はどうなるのか。 卒業と就職のギャップが不安。
	経済面への不安(n=14)	親に学費を払ってもらっているわけなので、迷惑はかけられない。 高校卒業から就職までの期間が長くなるので、経済的負担が増加する。 移行期間に提供されるプログラムなどの経済的負担。
	学力低下への不安(n=14)	授業のない間の学力低下が著しい。 移行期間は遊ぶ時間になってしまい、全体として学生の質が下がる。 高校で学んだことの記憶の維持も大変。
	生活面への不安(n=14)	移行期間における生活がどのようなものになるかが、最も心配。 移行期間が生じることで、自分が墮落した生活を送ってしまうのではないかと不安。 だらだらと生活して何もせずに終わってしまいそう。
	時間の使用方法への不安(n=8)	何をして良いのか分からない。 高卒後いきなり半年間も暇にするのだけは避けて欲しい。 移行期間に受験が終わった学生たちは暇を持て余すと思う。
	モチベーション低下への不安(n=7)	大学入試後のモチベーションを保てるか。 高校から大学までの半年間で、意欲がなくなってしまうことが不安。 勉学への意欲の低下。
	所属や身分の不安定さ(n=7)	高校生とも大学生とも言いにくい微妙な立場に長い時間おかれること。 社会的な身分がはっきりしていない。 移行期間という身分が定まっていないのはあまりよくない。
	住居の移転等の問題(n=4)	寮への入寮可能時期。4月からなのか秋からなのかが分かると良い。
		部屋探しが困難になりそうな点。 地方から一人暮らしを始める場合の措置。

表 24 制度上の不安や問題の下位カテゴリー

カテゴリーを構成する要因	回答例
移行期間のプログラムの充実(n=35)	移行期間中の、勉強・サークル・ゼミのプログラムがあるといいと思う。
	始業前でも授業の聴講のみできるようにしてほしい。 移行期間中の学習支援等を充実させる必要がある。
統一的移行制度の導入(n=19)	秋入学を導入するにあたっては、大学だけでなく小～高校までの教育期間や就職に関しても、何かしら変える必要は出てくるだろう。
	入学時期を変更するなら、大学だけでなく徹底的に変えるべきだ。一部だけを変えても社会が歪むだけではないか。
	海外の制度に合わせても、日本の中で統一しなければ逆に混乱する恐れがある。 秋入学を採用して得られるメリットがよく分からないので、しっかり説明して欲しいです。
II 制度上の不安や問題	意義やメリット・デメリット等の説明不足(n=10)なぜグローバル化しなくてはいけないのか分からない。
	海外留学を考えていない人にとってはメリットはほぼないと思える。
生徒間格差の問題(n=9)	生徒間での格差が大きくなるのではないかと、という不安がある。
	大学に入学してからの、春入学の学生との差を埋められるようにしたい。 春入学と秋入学の二つの世代の間で、いろいろな認識にギャップが生じてしまうのかと思うと心配です。
留学制度の改善・充実(n=7)	英語が話せない、書けないという現状では留学を希望する人は出ないと思う。
	秋入学にしたからと言って留学希望者が大幅に増えるとは思えない。 留学生の人数を増やしてもらえると実りの多い学生生活が送れるのではと思う。
学校間格差の問題(n=6)	大学ごとに差が生じること(卒業時期)。 秋入学を実施していない大学の学生との就職の差。
	秋入学を導入した大学と、そうでない大学との間でどのような差が生まれるかなど、まだまだ未知なことが多い。
不安定な制度の問題(n=2)	結論がまとまらないうちに実施して、後から制度が変わっていき振り回されること。
	何かしらの問題が生じて春入学に戻したなら、秋入学者は振り回されてしまう。

表 25 支持・不支持に関する意見の下位カテゴリー

カテゴリーを構成する要因	回答例
III 支持・不支持に関する意見	春には春の風景の中で、別れと出会いがあって欲しい。
	文化的配慮の必要性(n=8) 春入学は日本の文化の一部であると思うので、そこは今まで通りにして欲しいです。 入学、卒業＝桜というイメージが強すぎる。
準備期間の確保(n=6)	秋入学になれば時間もでき、旅行など色々なことができて大変良いと思う。
	1人暮らしを始める人にとっては準備期間になりとても嬉しいことではある。 卒業後の半年間社会に貢献する為の自分磨きができるのではないかと思う。
不支持の意見(n=6)	全ての不安を取り除けない限りは、秋入学等を導入するには慎重になった方が良く思う。
	早く次のステップに行きたいのに立ち止まるのは嫌だ。 従来の方式を変える必要がない。